



九州を制覇した仲西(提供)

仲西、ハンド劇的V

九州中学総体

全九州中学校体育大会は8日、各地で行われた。ハンドボール男子の仲西は、準決勝で祝吉(宮崎)を22-21の逆転で破り、決勝では大分を延長戦残り1秒で33-32と勝ち越して初優勝を飾った。

沖縄開催の軟式野球は準決勝で東風平が明豊(大分)に0-7の六回コールド、城北が諸富(佐賀)に1-4でそれぞれ敗れた。両校

は9日、全国大会出場を懸けた第3代表決定戦で対戦する。

体操は個人総合の男子で山崎海音(具志川東)が3位、女子で上原梨鈴(北中城)が11位となり、全国大会の出場権を得た。

ハンドボール

(SAGAサンライズパーク総合体育館)

男子

▽準決勝

仲西	22	12	10	11	祝吉
仲西	33	16	11	14	13
仲西	4	2	3	32	大分
仲西	2	3	2	3	大分

軟式野球

(セルラースタジアム那覇ほか) 城北

▽準決勝
諸富(佐賀) 0001001
城北 00003X4

残り1秒逆転成功

男子仲西は残り1秒で逆転劇を完成させる終盤の3連続得点で、九州を劇的に制した。

延長後半残り1分40秒で30-32とリードされたが、そこから粘りを発揮。まずは2連続得点し、残り12秒で追いついた。

7アウトに進入すること

も予想されたが、攻め急いだ相手の攻撃をGKの喜名志成が止め、すぐに大城翔太郎にパス。駆け上がった大城虹雲に渡ると、相手GKの動きを見極めて冷静に右下隅に決めた。

準決勝の祝吉戦(宮崎)に続く1点差での逆転勝利。下地叶也主将は「優勝

旗を持ち帰ろうと、苦しくてもチーム全員がリラックスしながら諦めなかった。めっちゃめっちゃうれしい」と喜んだ。決勝で自己最多の15点を決めた大城翔はこの優勝ですごく自信がついた。気を抜かずにもっと練習して力を付け、全国で優勝したい」と意気込んだ。